

# 経済・金融 フラッシュ

## 貿易統計 24年5月 - EU向けを中心に 輸出は弱めの動き

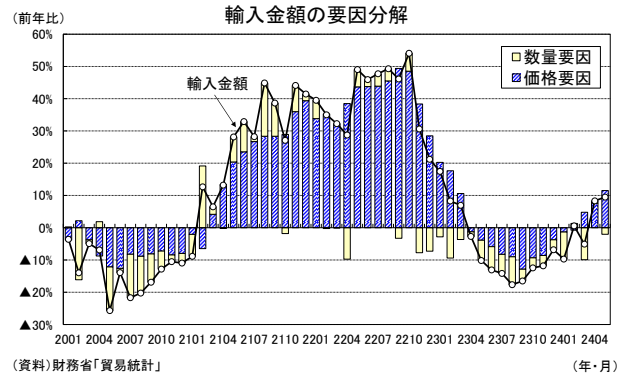
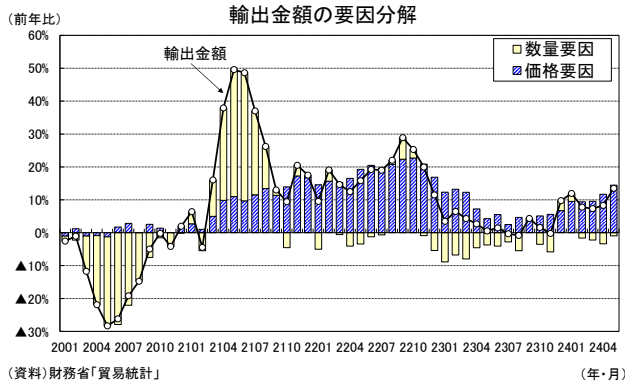
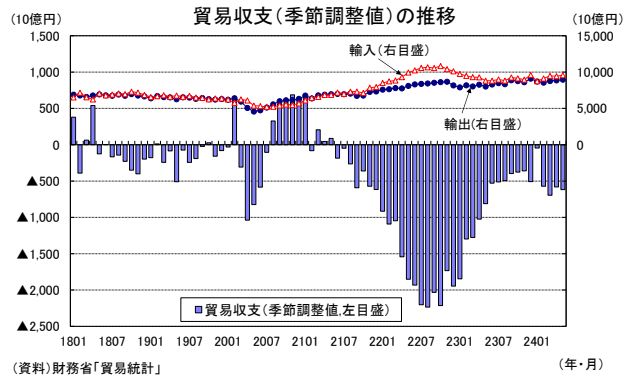
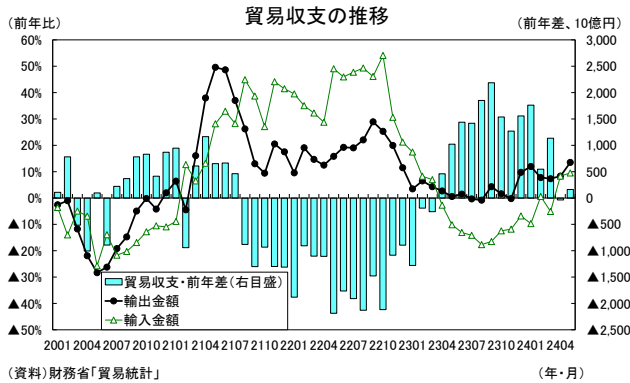
経済研究部 経済調査部長 斎藤 太郎

TEL:03-3512-1836 E-mail: tsaito@nli-research.co.jp

### 1. 貿易赤字(季節調整値)が継続

財務省が6月19日に公表した貿易統計によると、24年5月の貿易収支は▲12,213億円の赤字となり、ほぼ事前の市場予想（QUICK集計：▲13,004億円、当社予想も▲13,004億円）通りの結果となった。輸出が前年比13.5%（4月：同8.3%）、輸入が前年比9.5%（4月：同8.3%）といずれも前月から伸びを高めたが、輸出の伸びが輸入の伸びを上回ったため、貿易収支は前年に比べ1,610億円の改善となった。

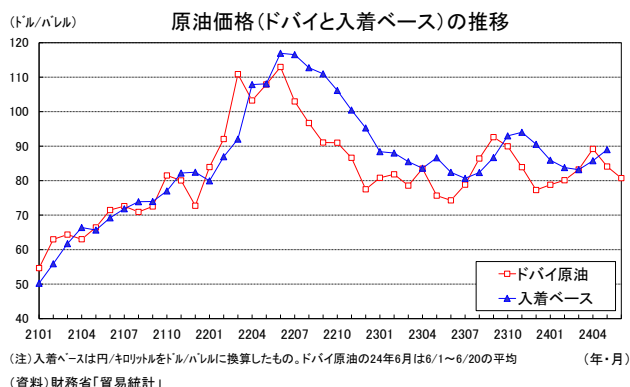
輸出の内訳を数量、価格に分けてみると、輸出数量が前年比▲0.9%（4月：同▲3.2%）、輸出価格が前年比14.5%（4月：同11.9%）、輸入の内訳は、輸入数量が前年比▲1.9%（4月：同0.7%）、輸入価格が前年比11.6%（4月：同7.6%）であった。



季節調整値の貿易収支は▲6,182億円と36ヵ月連続の赤字となり、4月の▲5,813億円から赤字

幅が若干拡大した。輸出が前月比 1.2%と 3 ヶ月連続で増加したが、輸入が同 1.5%と輸出の増加幅を上回った。

24 年 5 月の通関（入着）ベースの原油価格は 1 バレル=89.0 ドル（当研究所による試算値）と、4 月の 85.8 ドルから上昇した。足もとの原油価格（ドバイ）は 80 ドル台前半で推移しており、長期契約で販売する際に指標価格に上乘せされる調整金、船賃、保険料などを含めた通関ベースの原油価格は、24 年 6 月以降、80 ドル台半ばで推移することが見込まれる。

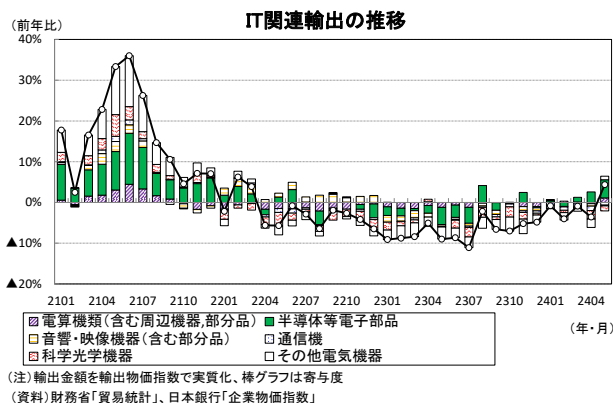
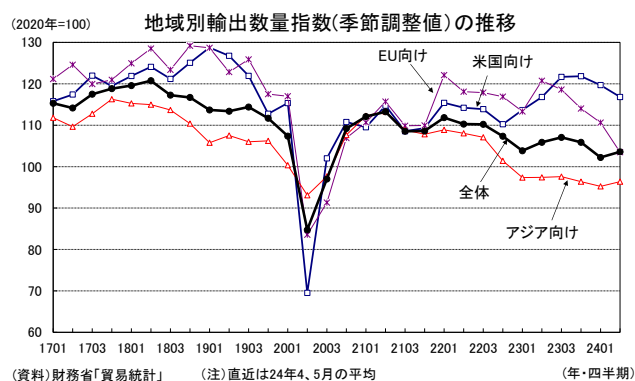


## 2. EU 向け輸出が特に弱い

24 年 5 月の輸出数量指数を地域別に見ると、米国向けが前年比 6.7%（4 月：同▲2.3%）、EU 向けが前年比▲17.9%（4 月：同▲13.7%）、アジア向けが前年比 0.7%（4 月：同▲1.6%）、うち中国向けが前年比▲0.4%（4 月：同▲5.1%）となった。

24 年 5 月の地域別輸出数量指数を季節調整値（当研究所による試算値）でみると、米国向けが前月比 1.8%（4 月：同▲2.0%）、EU 向けが前月比▲4.1%（4 月：同▲3.2%）、アジア向けが前月比▲0.2%（4 月：同▲0.3%）、うち中国向けが前月比 2.1%（4 月：同▲2.9%）、全体では前月比▲1.6%（4 月：同 0.7%）となった。24 年 4、5 月の平均を 1-3 月期と比較すると、アジア向けは 1.1%高いが、米国向けが▲1.5%、EU 向けが▲8.4%、中国向けが▲0.1%低くなっている（全体は 0.5%高い）。アジア向けはほぼ横ばいだが、欧米向けが弱く、特に EU 向けは自動車を中心に急速に落ち込んでいる。

財別には、グローバルな IT 関連財の持ち直しを受けて、半導体電子部品等の IT 関連輸出（実質ベース）が 22 年 3 月以来、2 年 2 ヶ月ぶりに前年比で増加に転じた。IT 関連は先行きの輸出を下支えすることが見込まれる。



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。